

団体運営費補助金調査票（表）

補助金名	レクリエーション協会補助金
------	---------------

担当課	シティプロモーション部 スポーツ振興課	実施主体	成田市レクリエーション協会										
科目・事業コード	<table border="1"> <tr> <th>会計</th> <th>款</th> <th>項</th> <th>目</th> <th>事業</th> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>10</td> <td>06</td> <td>01</td> <td>35 - 01</td> </tr> </table>	会計	款	項	目	事業	一般	10	06	01	35 - 01	R06 予算額	828 千円
会計	款	項	目	事業									
一般	10	06	01	35 - 01									
新規・継続の別	継続	R05 予算額	828 千円										
補助・単独の別	市単	R04 決算額	891 千円										
補助の種類	団体運営費	R03 決算額	732 千円										
交付開始年度	平成 17 年度	終了予定年度	令和 8 年度										

事業の目的・概要	<p>成田市レクリエーション協会は、市民の余暇生活を開発、充実するため、レクリエーションの総合的な普及振興を図り、レクリエーションに関する活動を行う団体及び各種目のレクリエーション公認資格保有指導者の活用に対する支援を行い、もって市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に資することを目的とする。</p> <p>市として当該団体に補助金を交付し、市民の充実した余暇生活の形成を推進する。</p>	補助対象事業	<p>①レクリエーションの総合的な普及振興・競技力の向上事業に関すること</p> <p>②レクリエーションに関する組織の強化・発展のための支援と相互の連絡調整に関すること</p> <p>③レクリエーションに関する事業の開催に関すること</p> <p>④レクリエーションに関する指導者の養成に関すること</p> <p>⑤レクリエーションに関する広報及び啓発に関すること</p> <p>⑥レクリエーション功労者の表彰に関すること</p> <p>⑦レクリエーションに関する事業の受託に関すること</p> <p>⑧その他市長が必要と認める事業に関すること</p>																					
根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・成田市補助金等交付規則 ・成田市レクリエーション協会補助金交付要綱 	補助基準等																						
留意事項		補助	<p>事業費</p> <p>団体の事業内容により算出した補助額 +9,000円×2人（1種目あたり）</p>																					
決算内訳	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">令和 4 年度決算額（単位：千円）</th> </tr> <tr> <th>収入額</th> <th>支出額</th> <th>翌年度繰越金</th> </tr> <tr> <td>1,073</td> <td>906</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>収入額の内 自主財源</td> <td>市補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>182</td> <td>891</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自主財源比率</td> <td>繰越金/補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>17.0%</td> <td>18.7%</td> <td></td> </tr> </table>	令和 4 年度決算額（単位：千円）			収入額	支出額	翌年度繰越金	1,073	906	167	収入額の内 自主財源	市補助金額		182	891		自主財源比率	繰越金/補助金		17.0%	18.7%		率 額	
令和 4 年度決算額（単位：千円）																								
収入額	支出額	翌年度繰越金																						
1,073	906	167																						
収入額の内 自主財源	市補助金額																							
182	891																							
自主財源比率	繰越金/補助金																							
17.0%	18.7%																							

団体運営費補助金調査票（裏）

評価項目	内 容	評 価	評 価 理 由
公益性	基本構想、実施計画、個別計画など市の施策の方向性と合致しているか	はい	協会では、レクリエーションとしてスポーツを行っており、成田市総合計画の基本目標に掲げる「学び、文化を育て、スポーツを楽しむまちづくり」に合致する。
	市民の利益に寄与することができるか（「はい」の場合、選択式）	はい	イ、文化・芸術・スポーツ等の推進に寄与することができる活動
	市民協働を推進する目的があるか	はい	レクリエーションを通じて、協会と住民の交流を図ることができる。
	事業を実施できる団体は他にないか	はい	特になし
必要性	事業の目的・視点・内容が、社会経済情勢や市民ニーズに適合しているか	はい	高齢化社会の進展に伴い、だれでもどこでも取り組むことのできるレクリエーションスポーツは、市民ニーズが高いものと考えられる。
	市が関与する必要性があるか	はい	レクリエーション活動の活性化は市民の余暇生活の充実につながるものであり、その一部を補助することは必要である。
	事業を実施しなかった場合に、大きなマイナスの影響があると認められるか	はい	地域スポーツ及びレクリエーションの振興に支障が生じる。
	類似の事業はないか	はい	特になし
適格性 (妥当性)	団体等の活動内容が、補助目的と合致しているか	はい	令和5年度以降も継続して地域スポーツ及びレクリエーションの振興に資する活動を実施する予定である。
	団体を支援するに当たり、補助金の交付が適切な手段であるか	はい	レクリエーションの普及・振興を目的とする事業であることから、基本的に収益性が見込まれないため、これを補完する必要がある。
	団体の会計処理や補助金の使途は適正であるか	はい	事業計画書に沿った処理がされている。領収書等により確認ができる。
	団体の決算における繰越金（剰余金）が補助金の額を超えていないか	はい	R04年度決算：補助額891千円、繰越額167千円
	対象経費は、規則・要綱等により規定されているか	はい	成田市レクリエーション協会補助金交付要綱に明記されている。
有効性 (費用対効果)	補助金を交付することによる効果を明確に示すことができる指標等はあるか	はい	レクリエーション協会主催事業参加者数（R2：322人、R3：397人、R4：479人）
	補助金額に見合う効果があると認められるか	はい	レクリエーション活動の普及は、市民の余暇生活の充実につながるものであり、補助金額に見合う効果はがあると認められる。
	事業を継続するうえで、補助は必要不可欠であるか	はい	現状として、自主財源のみでの事業の実施が困難なことから、補助は必要不可欠である。
	補助期間（終期）を設定しているか	はい	令和8年度を終期としている。

最終評価	改善
評価者 所見	現在の高齢化社会の進展、及び団塊の世代の大量退職による余暇時間の増大により、レクリエーション活動への参加機会が増加していくことが予想される。協会の活動を通じて、そのような方々の受け皿を作ることは、市民の余暇生活の充実に寄与するものである一方で、活動の性質上、収益を見込むことが困難な事業も多いため補助を継続することにより活動を支援する。しかしながら、長期にわたり団体の事務局を市が担っており、団体の自主・自立的な活動を一層推進していくため、改善を図る必要がある。